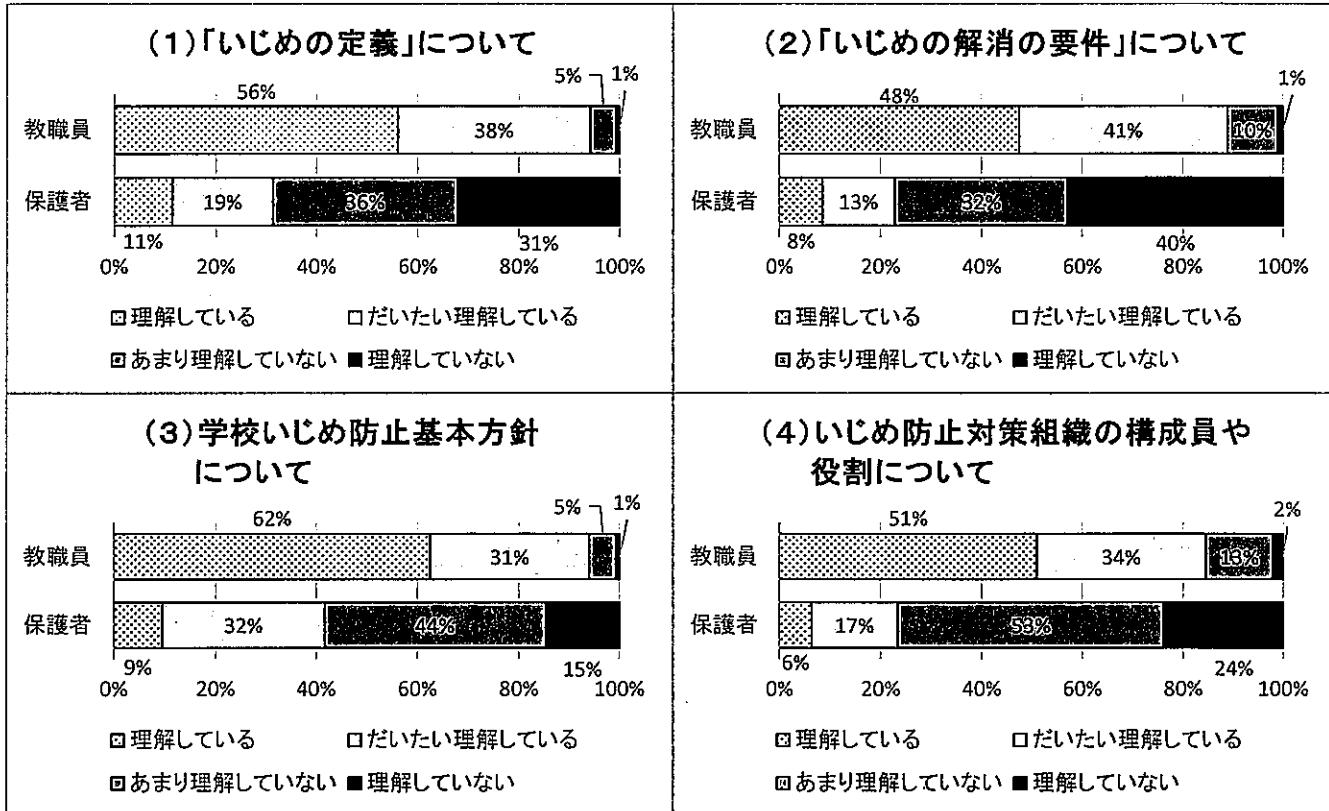


# 「いじめに対する意識アンケート」結果

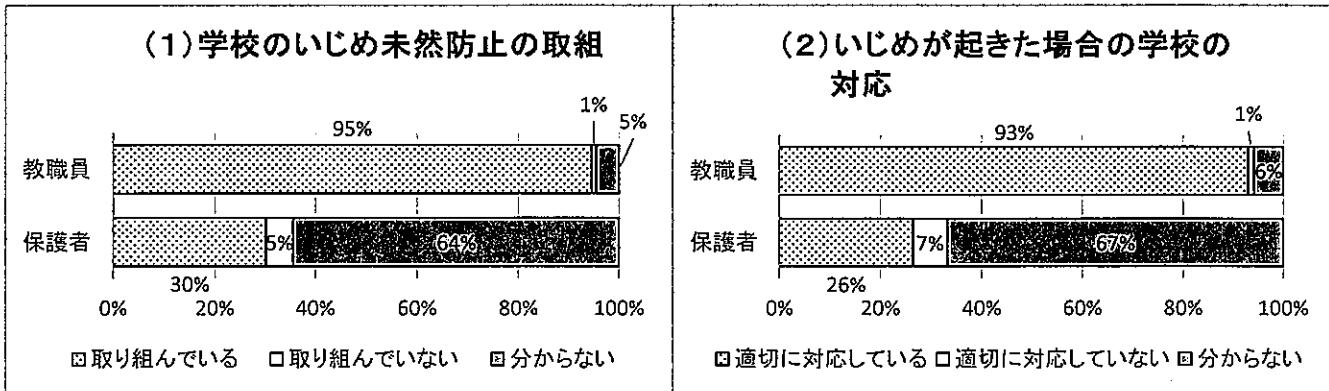
令和2年3月 北海道教育委員会

## 1 【定義などの理解について】



- 教職員が「理解している」と回答した割合が、5~6割程度である。  
→定期的ないじめの問題に関する校内研修の実施など、教職員の理解をさらに深める取組が必要
- 「理解している」と回答した割合が、教職員が5~6割程度であるのに対し、保護者は1割程度にとどまっている。  
→保護者向け学習会やPTAの研修会など、保護者に説明する機会が必要

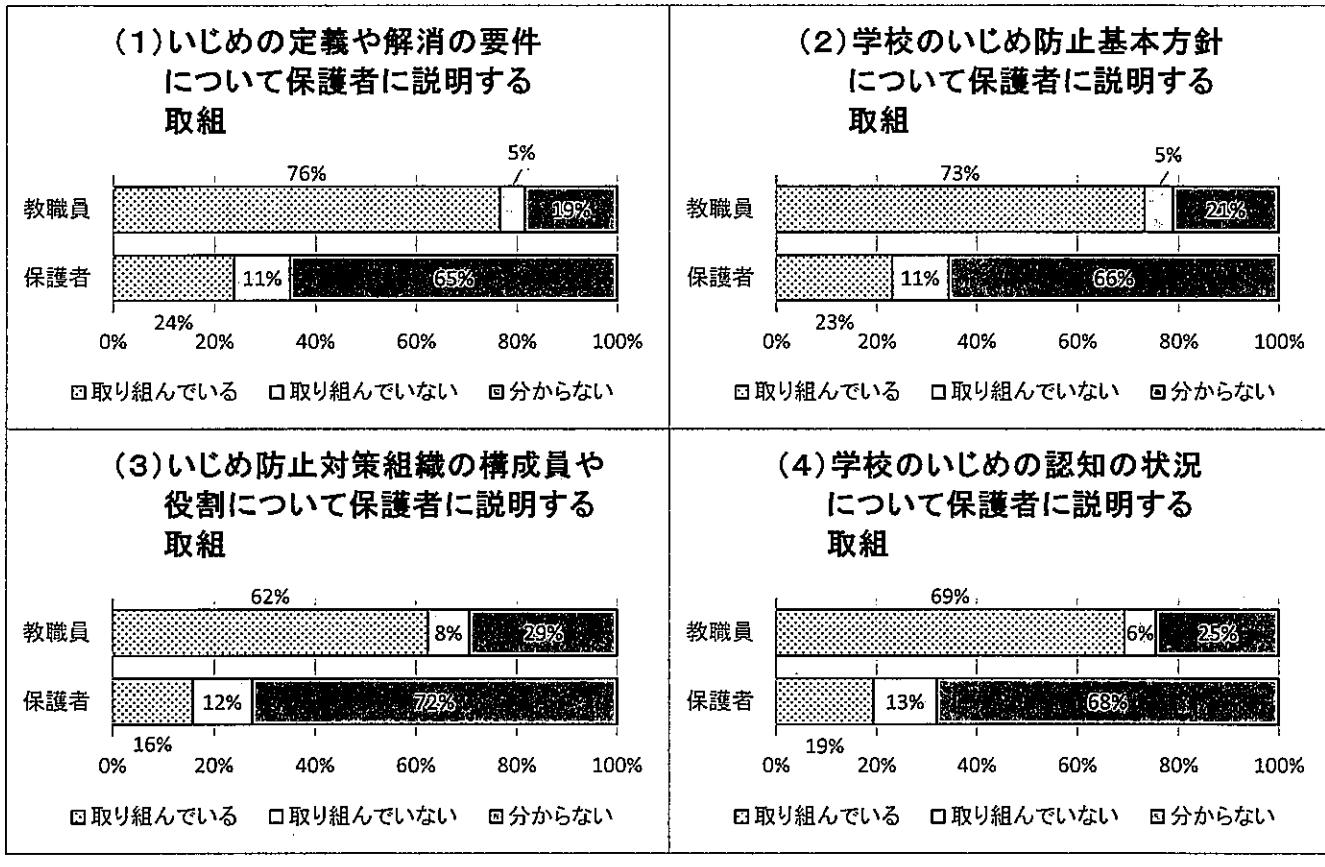
## 2 【学校の取組について】



- 教職員が「取り組んでいる／適切に対応している」と回答した割合が、95%程度である。  
→学校の取組に関する校内研修の実施などにより、全ての教職員が組織的にいじめの問題に取り組むことが必要
- 「取り組んでいる／適切に対応している」と回答した割合が、教職員が9割以上であるのに対し、保護者は3割程度にとどまっている。  
→学校便りやHPによる情報発信等により、学校の取組を保護者に伝える工夫が必要

## 「いじめに対する意識アンケート」結果

### 3 【保護者への説明について】



・教職員が「取り組んでいる」と回答した割合が、6割～7割程度である。

→学校の取組に関する校内研修の実施などにより、全ての教職員が学校の取組について理解することが必要

・「取り組んでいる」と回答した割合が、教職員が6割～7割程度であるのに対し、保護者は2割程度にとどまっている。

→学校便りやHPによる情報発信等により、学校の取組を保護者に伝える工夫が必要